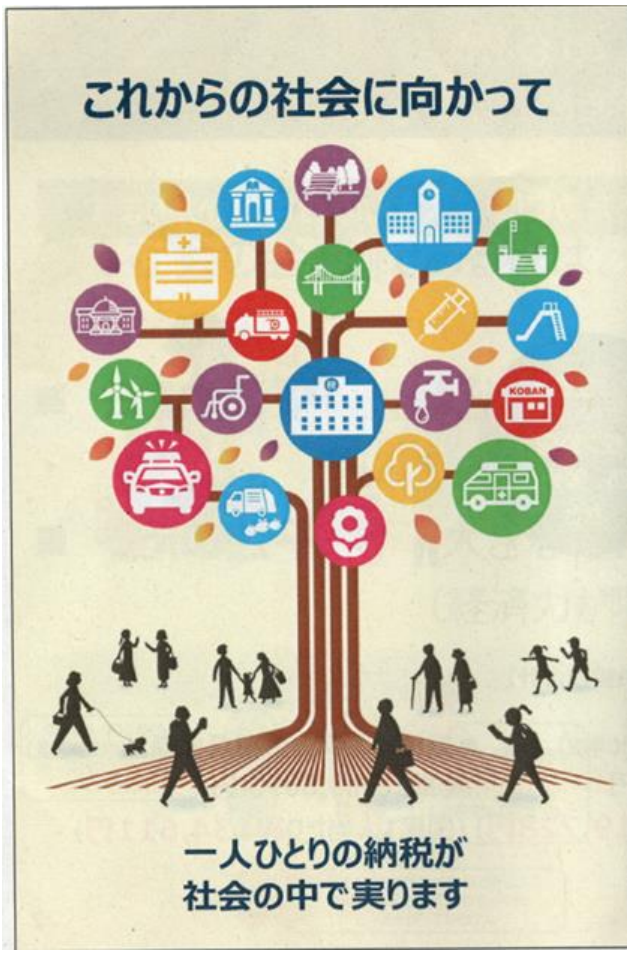
「租税教室」について

２月１７日（水）、第３学年を対象に「租税教室」を行い、福岡国税局職員の方からのお話を聞きました。

私たちが安心して生活していくためには、警察、消防、ゴミ収集、福祉などの「公共サービス」、学校、公園、道路、美術館などの「公共施設」が必要で、たくさんの費用がかかり、その主要な財源は私たちの税金によって賄われています。そのため、私たちひとり一人が税を身近なものと考え、税の意義や役割を正しく認識することが大切なことです。

租税教室は、①税は社会の会費、②税制は社会を映す鏡、③選挙へ行こうといった内容で、税金クイズなどを通して、税金の役割やその大切さを分かりやすく説明していていただき、来年度から働く人が多い本校の生徒たちには、所得税や住民税、消費税などの身近な税がどう活用されているかを再度理解することができたと思います。